

まち活フェス 2025 SACD で聴くクラシック

1 ファリヤ:バレエ「三角帽子」より「代官の踊り」 6:02

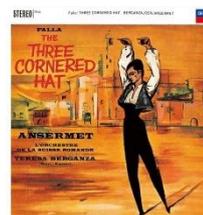
アンセルメ指揮スイス・ロマンダ管弦楽団

DECCA UCGD-9502 シングルレイヤーSACD

録音:1961年2月ジュネーブ・ヴィクトリアホール

プロデューサー:ジェームズ・ウォーカー、エンジニア:ロイ・ウォレス

*アナログ時代の代表的なオーケストラ録音の一つ、歯切れのよいリズムと明瞭な木管など、いまでもLPがテスト盤として利用されています。



2 リスト:「ラ・カンパネラ」 反田恭平(ピアノ) 5:30

DENON COGQ-78 ハイブリッド SACD

録音:2015年1月千葉県南総文化ホール(館山)スタンウェイ CD75 使用

プロデューサー:国崎裕、エンジニア:塩澤利安

*2021年のショパンコンクールで2位となった反田恭平が20歳の時に録音。往年のホロヴィッツが愛用したピアノを使用。



3 コレルリ:ヴァイオリンソナタ作品 5 第 12 番「フォリア」より第1曲、第2曲 3:29

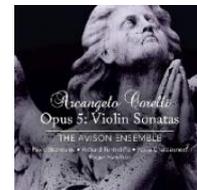
エイヴィソン・アンサンブル(ヴァイオリン:パブロ・ベズノシウク)

LINN Records CKD412 ハイブリッド SACD

録音:2012年1月、聖ジョージズ、チェスタートン、ケンブリッジ

プロデューサー&エンジニア:フィリップ・ホブス

*バロック・ヴァイオリンの名手によるコレルリ有名曲(ヴァイオリンは1676年、アントワープのマチュズ・ホフマン作)。明晰かつ臨場感溢れる録音。一方古楽器の鋭角的な側面はなく、柔和でむしろ慎ましやかな響き。



4 ラフマニノフ:「パガニーニの主題による狂詩曲」より第 18 変奏 2:43

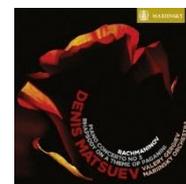
デニス・マツエフ(ピアノ)、ゲルギエフ指揮マリンスキー管弦楽団

MARIINSKY MAR0505 ハイブリッド SACD

録音:2009年2月セント・ペテルブルク、マリンスキー・コンサートホール

プロデューサー:ジェームズ・マリinson、エンジニア:ディルク・ソボツカ他

*マツエフは1998年チャイコフスキーコンクール優勝。パワーとスピードのピアニスト。



5 「ラ・スパーニャ」より Spagna Contrapunto 1:55, Historia Baetica 1:45

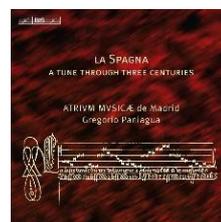
グレゴリオ・パニアグア、アトリウム・ムジカ

BIS-SACD-1963 ハイブリッド SACD

録音:1980年4月マドリッド・インペリアル・カレッジチャペル

プロデューサー&エンジニア:ロベルト・フォン・パール

*アナログ時代最後に到達した超優秀録音。「ハイエンドののびは、
そう快にのびきってしかも歪み感ゼロ、情報量特大、音像は3次元的
に定位、音場も広大、いうところなし」(長岡鉄男)



6 バッハ:平均律クラヴィーア曲集第1巻より第1番ハ長調より前奏曲 2:07

曾根麻矢子 (チェンバロはドレスデンのJ.H.グレーブナーが1739年に製作
した楽器をモデルにデイビッド・レイが2005年に製作したドイツ型チェンバロ)

AVEX AVCL-25176 ハイブリッド SACD

録音2007年2月パリノートルダム・ド・ボン・スクール病院礼拝堂

プロデューサー:スキップ・センペ、エンジニア:アレッサンドラ・ガレロン

*日本のチェンバロ第1人者によるバッハのパリ録音。プロデューサーはチェンバロ奏者で
曾根の師。チェンバロの美しさが情報量豊かな SACD で味わえる。



7 ヴェルディ:歌劇「オテロ」よりイアーゴの aria「俺は信じる、残忍な神を」 4:38

アルド・プロッチィ(バリトン)、カラヤン指揮ウィーンフィル

ESOTERIC ESSD90186 ハイブリッド SACD

録音:1961年5月ウィーン、ゾフィエンザール

プロデューサー:ジョン・カルショウ、エンジニア:ゴードン・パリー

*英デッカの名プロデューサーカルショウがカラヤンと協働したオペラ
録音の一つ。



8 ペルト:鏡の中の鏡(1978) ヴァイオリンとピアノのための 5:00

ベンジャミン・ハドソン(ヴァイオリン)、ユルゲン・クルーゼ(ピアノ)

BrilliantClassics8847 ハイブリッド SACD

録音:2006年ドイツ、ルートヴィヒブルク、パウエルスタジオ

*1935年エストニア出身のペルトによる最もよく知られた曲。
切り詰めた音による静謐の世界、究極の癒やし。

